



日本触媒

株主のみなさまへ  
第105期(中間)営業のご報告

平成28年4月1日 ~ 平成28年9月30日

株式会社 日本触媒

証券コード 4114

目次

|              |    |
|--------------|----|
| 長期ビジョン・目標    | 1  |
| 企業理念・経営理念／社是 | 1  |
| ごあいさつ        | 2  |
| 連結業績ハイライト    | 3  |
| セグメント別概況(連結) | 5  |
| トピックス        | 7  |
| 連結財務諸表       | 8  |
| 日本触媒グループの状況  | 9  |
| 株式の状況        | 10 |
| 役員           | 10 |

# 人の暮らしに 新たな価値を提供する 革進<sup>\*</sup>的な化学会社

- ・ 技術と創造力で、新しいことに挑戦し続けます
- ・ No.1の製品や技術を増やし、グローバルに事業を行います
- ・ 最高水準の安全性と生産性を追求し続けます
- ・ 地球環境に貢献し続けます
- ・ 世界中の職場を多様性のある活気あふれる場にします



※革進：旧習・旧態を改めて、進歩を図ること(出所：大辞林) (長期経営計画「新生日本触媒 2020」より)

## 日本触媒グループ 企業理念

### TechnoAmenity

私たちはテクノロジーをもって  
人と社会に豊かさと快適さを提供します

## 経営理念

人間性の尊重を基本とします  
社会との共生、環境との調和を目指します  
未来を拓く技術に挑戦します  
世界を舞台に活動します

## 社是

「安全が生産に優先する」

# ごあいさつ

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、第105期中間期（平成28年4月1日から平成28年9月30日）の事業の概況につきご報告申しあげます。

## 当中間期の概況

当中間期における世界経済は、アメリカでは景気回復が続き、欧州でも緩やかに回復している一方で、中国や資源国などの景気減速が続くなかで推移しました。

日本経済は、円高・株安の動きが続いているものの、雇用情勢が堅調に推移するなど、緩やかな回復基調にあるなかで推移しました。

化学工業界におきましては、輸出に陰りがみられ、また原料価格の動向など先行きが不透明ななかで推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当中間期の売上高は、原料価格や製品海外市況が下落したことによる販売価格の低下や、円高の影響などにより、前年同期に比べて287億5千1百万円減収（△17.2%）の1,383億1百万円となりました。

利益面につきましては、生産・販売数量が増加したことによる数量効果に加え、加工費も減少しましたが、原料価格の下がり幅以上に製品市況が低下したことに

よるスプレッドの縮小により、営業利益は、前年同期に比べて67億8千8百万円減益（△41.5%）の95億8千5百万円となりました。

営業外損益は、技術供与等関連費用が減少したことなどがありましたが、為替差損が増加したことや、持分法投資利益が減少したことなどにより、前年同期に比べて4億4千9百万円の減益となりました。その結果、経常利益は前年同期に比べて72億3千8百万円減益（△39.7%）の109億8千1百万円となりました。

特別損益は、関係会社株式売却益がなくなったことなどにより、前年同期に比べて6億4千6百万円の減益となりました。その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期に比べて59億7千6百万円減益（△41.3%）の85億4百万円となりました。

## 配当金について

当期の中間配当金は、前期中間配当金（株式併合※後換算で65円）に比べて10円増配で中間配当としては過去最高の1株当たり75円といたしました。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成28年12月

代表取締役社長

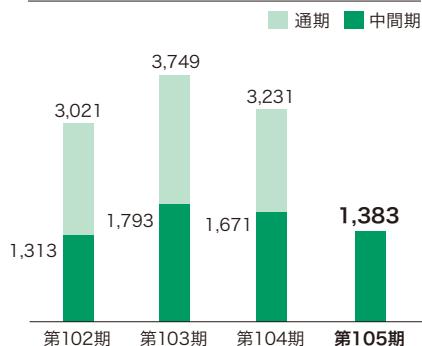
池田全徳

※ 当社は、平成27年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。

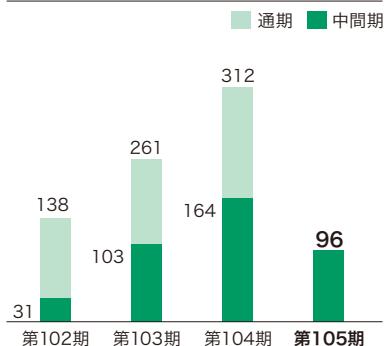
# 連結業績ハイライト

|                 | 第104期(中間) | 第105期(中間)      | 前年同期比    | 第104期(通期) |
|-----------------|-----------|----------------|----------|-----------|
| 売上高             | 1,671億円   | <b>1,383億円</b> | △17.2%   | 3,231億円   |
| 営業利益            | 164億円     | <b>96億円</b>    | △41.5%   | 312億円     |
| 経常利益            | 182億円     | <b>110億円</b>   | △39.7%   | 343億円     |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 145億円     | <b>85億円</b>    | △41.3%   | 260億円     |
| ROA (総資産経常利益率)  | 8.8%      | <b>5.4%</b>    | △3.4ポイント | 8.3%      |
| ROE (自己資本利益率)   | 10.7%     | <b>6.2%</b>    | △4.5ポイント | 9.6%      |

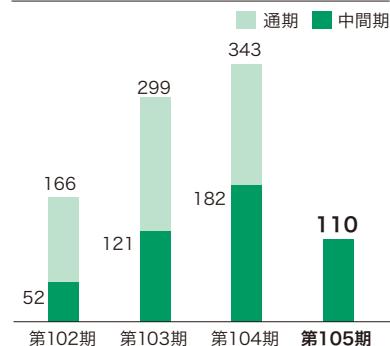
## 売上高 (億円)



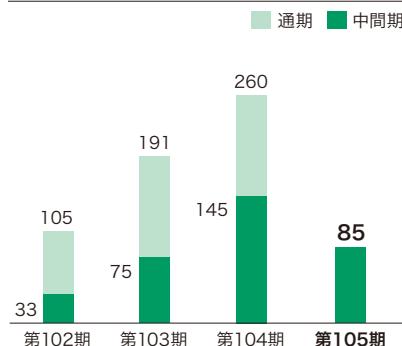
## 営業利益 (億円)



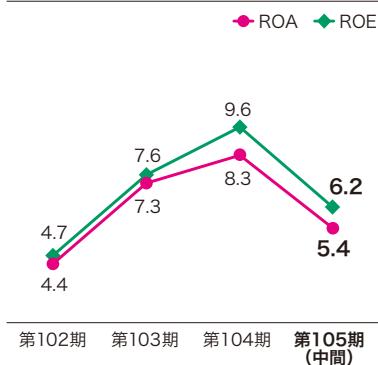
## 経常利益 (億円)



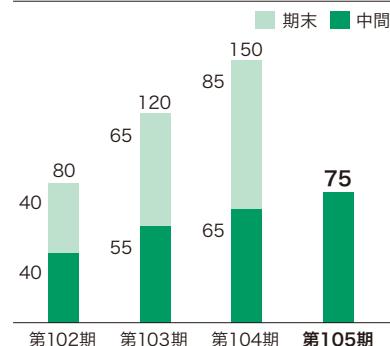
## 親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)



## ROA/ROE (%)



## 配当金推移 (円/株)

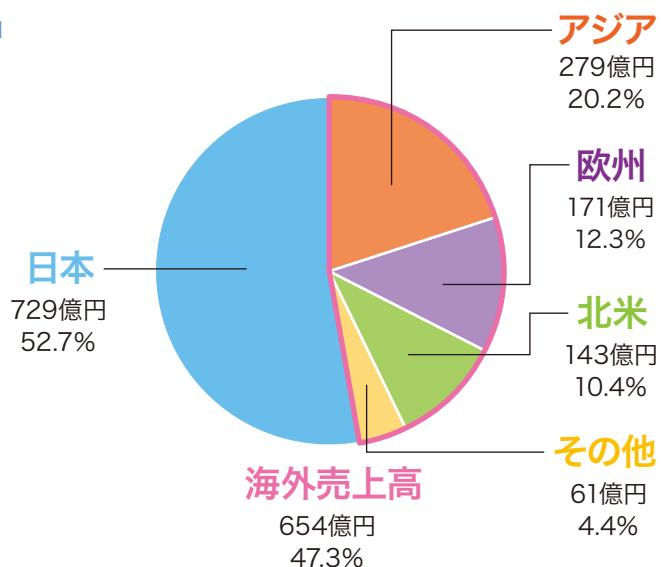
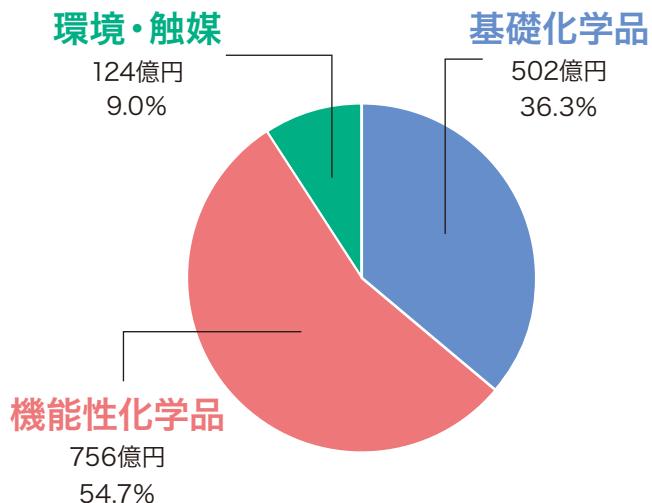


※第105期(中間)のROA及びROEは年換算しております。

※平成27年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。これに伴い、第102期の期首に株式併合が行われたと仮定し、表示しております。

## セグメント別売上高／構成比

## 地域別売上高／構成比



### 基礎化学品事業



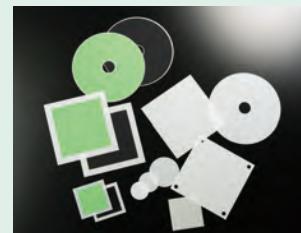
衣料用洗剤 (高級アルコール)

### 機能性化学品事業



医薬品 (医薬中間原料)

### 環境・触媒事業



燃料電池材料

#### 【主要営業品目】

- アクリル酸
- エタノールアミン
- アクリル酸エステル
- 高級アルコール
- 酸化エチレン
- グリコールエーテル
- エチレングリコール

#### 【主要営業品目】

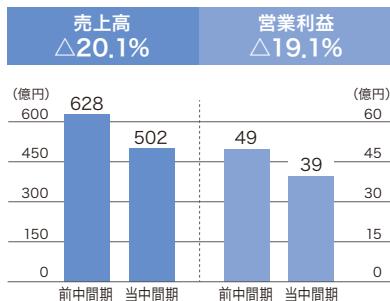
- 高吸水性樹脂
- よう素
- 医薬中間原料
- 無水マレイン酸
- コンクリート混和剤用ポリマー
- 粘接着剤・塗料用樹脂
- 電子情報材料
- 粘着加工品

#### 【主要営業品目】

- 自動車触媒
- プロセス触媒
- 脱硝触媒
- 排ガス処理装置
- ダイオキシシン類分解触媒
- 燃料電池材料

# セグメント別概況(連結)

## 基礎化学品事業



アクリル酸及びアクリル酸エステルは、国内では原料価格下落に伴い販売価格が低下したこと、海外では、世界的な供給過剰状態が続くなか、東南アジア市況低迷に伴い販売価格が低下したことにより、減収となりました。

酸化エチレンは、販売数量は増加させましたが、原料価格下落に伴い販売価格が低下したことにより、減収となりました。

エチレングリコールは、輸出向けで販売数量を増加させましたが、海外市況が下落したことや円高の影響などにより、減収となりました。

エタノールアミンは、原料価格下落に伴い販売価格が低下しましたが、販売数量を増加させたことにより、増



ペット樹脂 (エチレングリコール)

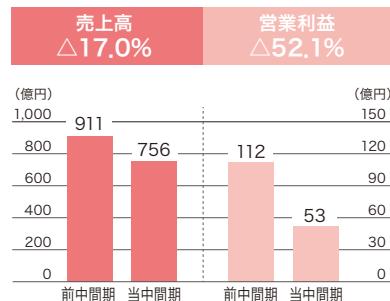
収となりました。

高級アルコールは、原料価格下落に伴い販売価格が低下したことにより、減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前年同期に比べて20.1%減少の502億2千8百万円となりました。

営業利益は、生産・販売数量が増加し、加工費も減少しましたが、スプレッドが縮小したことなどがこれらを上回った結果、前年同期に比べて19.1%減少の39億4千3百万円となりました。

## 機能性化学品事業



高吸水性樹脂は、販売数量は増加させましたが、原料価格が下落したことに伴い販売価格が低下したことや円高の影響などにより、減収となりました。

電子情報材料、エチレンイミン誘導品及び粘着加工品は、販売数量を増加させたことにより、増収となりました。

特殊エステルは、販売数量は増加させましたが、海外市況が下落したことや円高の影響などにより、減収となりました。

無水マレイン酸及び樹脂改質剤は、販売数量は増加させましたが、原料価格下落に伴い販売価格が低下したことにより、減収となりました。

よう素化合物は、販売数量が減少したため、減収となりました。

コンクリート混和剤用ポリマー、洗剤



電子機器（電子情報材料）

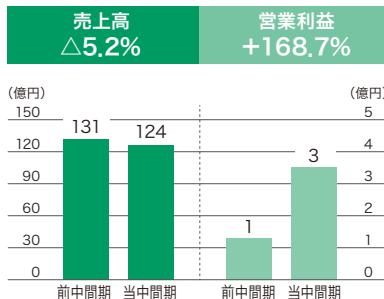
原料などの水溶性ポリマーは、販売数量が減少したことや、円高の影響などにより、減収となりました。

塗料用樹脂は、製品構成により減収となりました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前年同期に比べて17.0%減少の756億4千2百万円となりました。

営業利益は、生産・販売数量が増加したことに加え、加工費及び販管費も減少しましたが、スプレッドが縮小したことなどがこれらを上回った結果、前年同期に比べて52.1%減少の53億4千5百万円となりました。

## 環境・触媒事業



自動車触媒は、貴金属価格下落に伴い販売価格が低下したことにより、減収となりました。

プロセス触媒、燃料電池材料、リチウム電池材料及び湿式酸化触媒は、販売数量が増加したことにより、増収となりました。

ダイオキシン類分解触媒は、販売構成により、増収となりました。

脱硝触媒及び排ガス処理触媒は、



プロセス触媒

販売数量が減少したことにより、減収となりました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前年同期に比べて5.2%減少の124億3千1百万円となりました。

営業利益は、燃料電池材料及び湿式酸化触媒の販売数量が増加したことなどにより、前年同期に比べて168.7%増加の3億4千6百万円となりました。



### ささきしょうこ選手と所属契約を締結

当社は、2016年2月からスポンサー契約を締結し応援してきたプロゴルファー・ささきしょうこ選手と、本年11月、所属契約を締結しました。同選手は、本年7月の国内女子公式ゴルフツアー「大東建託・いい部屋ネットレディス」(7月29～31日、鳴沢ゴルフクラブ(山梨県))でプロデビュー1年にして初優勝を果たし、今後もさらなる活躍が期待されます。日本触媒は、ささきしょうこ選手を、より一層応援してまいります。

## 姫路製造所で高吸水性樹脂製造設備を増設

姫路製造所で建設を進めてまいりました高吸水性樹脂 (SAP) の新製造設備が完工し、2016年7月6日に完工式を執り行いました。10月から商業運転を開始しております。

最新技術の採用で従来よりも生産性を向上させ、年間生産能力5万トン有する同設備の増設により、既存設備と合わせた当社グループのSAPの年間生産能力は61万トンとなりました。

現在、ベルギーの子会社ニッポンシヨクバイ・ヨーロッパN.V.で建設を進めている新設備が予定どおり完工し、2018年に操業を開始しますと、全世界合計で71万トンの年間生産能力となる予定で、引き続き、トップサプライヤーとしての地位をより強固にしております。

プラント建屋



完工式

## TAK-Circulator株式会社と資本提携

当社は、2016年8月、TAK-Circulator株式会社(以下「TAK-Circulator」)と、同社の第三者割当増資の引受けにより資本提携いたしました。

TAK-Circulatorは東京大学が保有する革新的な技術を駆使した皮膚細菌叢のゲノム解析サービス事業を展開し、健康長寿を実現する核酸医薬<sup>1</sup>の創薬を進めています。今回の資本提携を通じ、TAK-Circulatorの核酸医薬シーズの開発促進とともに、同原薬の開発・製造面での業務提携を進めてまいります。

当社は、長期経営計画「新生日本触媒2020」に基づき、新規事業の立ち上げ・新製品の速やかな上市を目指した取り組みを行っております。今回の核酸医薬への参入は、健康・医療事業分野での、これまでのペプチド医薬<sup>2</sup>原薬、DDS<sup>3</sup>への参入に続く新たな取り組みです。今後も、同分野での「創薬支援事業」確立に向け、更なる手段を講じてまいります。

### 資本提携の概要

当社の引受株式:普通株式16,000株

当社の持分比率:増資後の発行済株式総数の21.42%

### TAK-Circulator株式会社の概要

代表者:代表取締役 森川あすか

資本金:37,025万円

発行済株式総数:74,700株

ウェブサイト:<http://www.tak-circ.com/>



- \*1 核酸医薬:DNAと同じ核酸を構成成分とする核酸分子からなる医薬品
- \*2 ペプチド医薬:ヒトの体内で分泌されるホルモンなどの生理活性物質(アミノ酸の縮合体)を医薬品として応用するもの
- \*3 DDS:Drug Delivery Systemの略。必要な薬物を必要な時間に必要な部位で作用させるためのシステム(工夫・技術)

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (百万円)

| 前 期<br>(H28.3.31現在)     |  | 当中間期<br>(H28.9.30現在)             |  |
|-------------------------|--|----------------------------------|--|
| <b>資産合計<br/>407,997</b> |  | <b>資産合計<br/>398,472</b>          |  |
| 流動資産<br>195,682         |  | 流動資産<br>186,974                  |  |
| 固定資産<br>212,315         |  | 固定資産<br>211,498                  |  |
| 有形固定資産<br>146,588       |  | 有形固定資産<br>146,866                |  |
| 無形固定資産<br>3,999         |  | 無形固定資産<br>3,526                  |  |
| 投資その他の資産<br>61,728      |  | 投資その他の資産<br>61,106               |  |
|                         |  | <b>負債・純資産<br/>合計<br/>407,997</b> |  |
|                         |  | <b>負債・純資産<br/>合計<br/>398,472</b> |  |
|                         |  | 流動負債<br>81,053                   |  |
|                         |  | 固定負債<br>44,458                   |  |
|                         |  | 株主資本<br>262,648                  |  |
|                         |  | その他の包括利益<br>16,187               |  |
|                         |  | 非支配株主持分<br>3,651                 |  |
|                         |  | 流動負債<br>77,731                   |  |
|                         |  | 固定負債<br>46,321                   |  |
|                         |  | 株主資本<br>267,699                  |  |
|                         |  | その他の包括利益<br>3,319                |  |
|                         |  | 非支配株主持分<br>3,403                 |  |

## 連結損益計算書 (百万円)

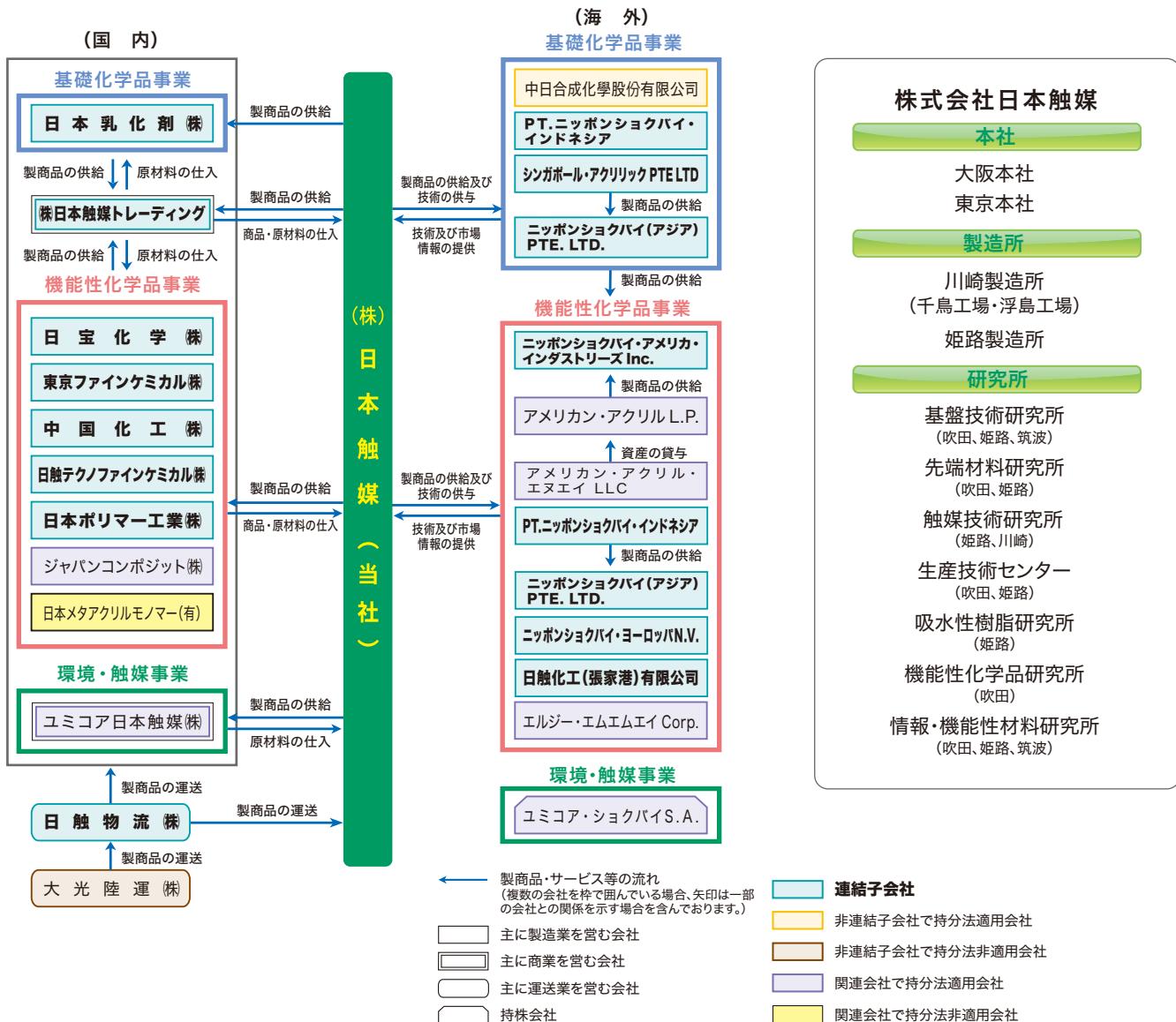
| 科 目                    | 前中間期<br>(H27.4.1 から<br>H27.9.30まで) | 当中間期<br>(H28.4.1 から<br>H28.9.30まで) |
|------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| <b>売上高</b>             | <b>167,052</b>                     | <b>138,301</b>                     |
| 売上原価                   | 131,354                            | 109,450                            |
| 売上総利益                  | 35,698                             | 28,851                             |
| 販売費及び一般管理費             | 19,324                             | 19,266                             |
| <b>営業利益</b>            | <b>16,374</b>                      | <b>9,585</b>                       |
| 営業外収益                  | 3,408                              | 3,079                              |
| 営業外費用                  | 1,563                              | 1,683                              |
| <b>経常利益</b>            | <b>18,218</b>                      | <b>10,981</b>                      |
| 特別利益                   | 869                                | -                                  |
| 特別損失                   | 223                                | -                                  |
| <b>税金等調整前当期純利益</b>     | <b>18,864</b>                      | <b>10,981</b>                      |
| 法人税等                   | 4,363                              | 2,464                              |
| 非支配株主に帰属する当期純利益        | 21                                 | 13                                 |
| <b>親会社株主に帰属する当期純利益</b> | <b>14,479</b>                      | <b>8,504</b>                       |

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

| 科 目              | 前中間期<br>(H27.4.1 から<br>H27.9.30まで) | 当中間期<br>(H28.4.1 から<br>H28.9.30まで) |
|------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 26,591                             | 17,906                             |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 5,805                            | △ 12,240                           |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 12,493                           | 1,730                              |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 163                              | △ 5,250                            |
| 現金及び現金同等物の増減額    | 8,129                              | 2,145                              |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 44,336                             | 64,055                             |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 52,465                             | 66,200                             |

# 日本触媒グループの状況 (平成28年9月30日現在)

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、子会社24社及び関連会社16社で構成され、化学品の製造販売を主な内容としております。当社グループの事業概要図は次のとおりであります。



# 株式の状況 (平成28年9月30日現在)

■発行可能株式総数 普通株式 127,200,000株

■発行済株式の総数 普通株式 40,800,000株

■株 主 数 10,972名

## ■大株主(上位10名)

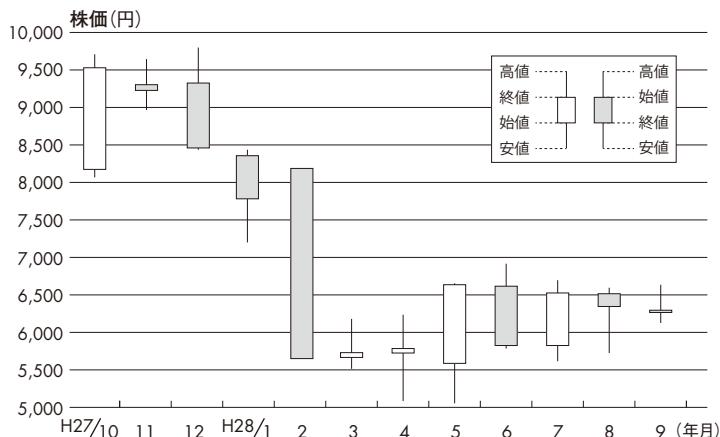
| 順位 | 株 主 名                     | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|----|---------------------------|---------|---------|
| 1  | 住友化学株式会社                  | 3,896   | 9.60    |
| 2  | 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2,309   | 5.69    |
| 3  | J X ホールディングス株式会社          | 2,129   | 5.24    |
| 4  | JP MORGAN CHASE BANK      | 1,650   | 4.06    |
| 5  | 株式会社りそな銀行                 | 1,373   | 3.38    |
| 6  | 全国共済農業協同組合連合会             | 1,308   | 3.22    |
| 7  | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)   | 1,290   | 3.18    |
| 8  | 三洋化成工業株式会社                | 1,267   | 3.12    |
| 9  | 株式会社みずほ銀行                 | 948     | 2.33    |
| 10 | 東洋インキSCホールディングス株式会社       | 904     | 2.22    |

※1 上記のほか、当社が保有している自己株式数が218千株あります。

※2 持株比率については、自己株式数を控除して算出しております。

※3 持株数及び持株比率については、表示単位未満を切り捨てております。

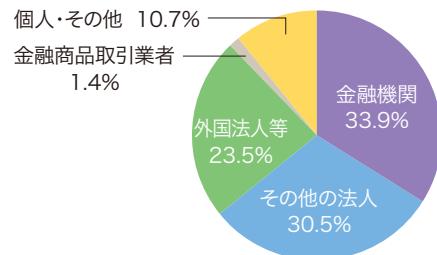
## ■株価の推移 (平成27年10月～平成28年9月)



# 役員 (平成28年9月30日現在)

|             |       |
|-------------|-------|
| 代表取締役社長     | 池田全徳  |
| 代表取締役専務執行役員 | 山本晴久  |
| 取締役専務執行役員   | 山本雅雄  |
| 取締役常務執行役員   | 高橋洋次郎 |
| 取締役常務執行役員   | 五嶋祐治朗 |
| 取締役執行役員     | 松本行弘  |
| 取締役(社外)     | 三浦孝一  |
| 取締役(社外)     | 酒井孝志  |
| 取締役(社外)     | 荒尾幸三  |
| 監査役         | 丸尾泰三  |
| 監査役         | 有田義広  |
| 監査役(社外)     | 大場邦光  |
| 監査役(社外)     | 小松陽一郎 |
| 常務執行役員      | 山田浩一郎 |
| 常務執行役員      | 原田信幸  |
| 執行役員        | 初田卓己  |
| 執行役員        | 長砂欣也  |
| 執行役員        | 吉田雅也  |
| 執行役員        | 荒川和清  |
| 執行役員        | 亀井輝雄  |
| 執行役員        | 長谷部連  |

## ■所有者別分布状況



※自己株式は、「個人・その他」に含まれております。

本営業のご報告中、注記しているものを除き、記載金額及び比率は表示単位未満を四捨五入しております。

## ■株主メモ

|                        |   |
|------------------------|---|
| 事業年度                   | 4月1日から翌年3月31日まで   |
| 期末配当金受領株主確定日           | 3月31日   |
| 中間配当金受領株主確定日           | 9月30日   |
| 定時株主総会                 | 毎年6月  |
| 単元株式数                  | 100株  |
| 株主名簿管理人<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社   |
| 同 連絡先                  | 三菱UFJ信託銀行株式会社<br>大阪証券代行部<br>〒541-8502<br>大阪市中央区伏見町三丁目6番3号<br>電話 0120-094-777<br>(通話料無料) |
| 上場証券取引所                | 東京証券取引所   |
| 電子公告                   | 電子公告  |
| 公告の方法                  | ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行きます。なお、電子公告は当社のホームページに掲載して行きます。       |

## 【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求、配当金の口座振込のご指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

## ■会社の概要 (平成28年9月30日現在)

|         |  |
|---------|--|
| 商 号     | 株式会社日本触媒   |
| (英文表示)  | NIPPON SHOKUBAI CO., LTD.  |
| 設立年月日   | 昭和16年8月21日   |
| 資 本 金   | 25,038,413,238円  |
| 従 業 員 数 | 4,155名(連結)/2,241名(単独)  |
| 本 社     |  |
| 大阪本社    | 〒541-0043<br>大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号<br>(興銀ビル)<br>電話 (06)6223-9111(総務部)       |
| 東京本社    | 〒100-0011<br>東京都千代田区内幸町一丁目2番2号<br>(日比谷ダイビル)<br>電話 (03)3506-7475(東京総務部) |

## 当社ホームページのご案内 (株主・投資家の皆様へ)

<http://www.shokubai.co.jp/ja/ir/>

日本触媒 IR

検索

